第二種礼服冬上衣	地質	第一種礼服冬上衣と同じとする。
	製式	襟　えんじ色のへちま襟とする。両襟に金色モール製の桜花桜葉模様の襟飾りをつける。
		肩　第一種礼服冬上衣と同じとする。
		前面　金色のボタン三個を二行につけ、付け合わせ部の左右に金色のボタン各一個をつけ留める。
		そで　長そでとする。両そでの下部にそで章として、陸将及び陸将補にあつてはしま織及び亀甲模様織の金線並びに金色モール製の桜花をつけ、一等陸佐以下にあつてはしま織金線及び金色モール製の桜花をつける。
		その他　ボタンは、第一種礼服冬上衣と同じとする。
		形状及び寸法は、図のとおりとする。
第一種礼服冬ズボン	地質	第一種礼服冬上衣と同じとする。
	製式	長ズボンとし、両わきの縫目に沿つてしま織金線の側線をつける。右前面及び右後面に各一個の隠しポケットをつけ、右後面のポケットにはふたをつけ、黒色のボタン一個で留める。胴回りに六個のズボンつり用ボタン及び七個のバンド通しをつける。すそ口は、シングルとする。形状及び寸法は、図のとおりとする。
第二種礼服冬ズボン	地質	第一種礼服冬上衣と同じとする。
	製式	長ズボンとし、両わきの縫目に沿つてしま織金線の側線をつける。右前面及び右後面に各一個の隠しポケットをつけ、黒色のボタン一個で留める。胴回りに七個のズボンつり用ボタン及び七個のバンド通しをつける。すそ口は、シングルとする。形状及び寸法は、図のとおりとする。
女性第一種礼服冬上衣	地質	黒色の毛織物、絹織物、化学繊維織物又はこれらの混紡織物若しくは交織織物とする。
	製式	襟　剣襟とする。両襟に金色モール製の桜花桜葉模様の襟飾りをつける。
		肩　第一種礼服冬上衣と同じとする。
		前面　シングルとし、金色のボタン四個を一行につける。胸部の左右に、各一個のふた及び隠しポケットをつけ、金色のボタン各一個でそのふたを留める。腰部の左右に各一個のふたつき隠しポケットをつける。
		そで　第一種礼服冬上衣と同じとする。
		その他　ボタンは、第一種礼服冬上衣と同じとする。
		形状は、図のとおりとする。

第二種礼服冬上衣	製式	前面　金色のボタン三個を二行につけ、付け合わせ部の左右に金色のボタン各一個をつけ留める。
		そで　長そでとする。両そでの下部にそで章として、陸将及び陸将補にあつてはしま織及び亀甲模様織の金線並びに金色モール製の桜花をつけ、一等陸佐以下にあつてはしま織金線及び金色モール製の桜花をつける。
		その他　ボタンは、第一種礼服冬上衣と同じとする。
		形状及び寸法は、図のとおりとする。
	地質	第一種礼服冬上衣と同じとする。
礼服冬ズボン	製式	長ズボンとし、両わきの縫目に沿つてしま織金線の側線をつける。右前面及び右後面に各一個の隠しポケットをつけ、右後面のポケットにはふたをつけ、濃紺色のボタン一個で留める。胴回りに六個のズボンつり用ボタン及び六個のバンド通しをつける。すそ口は、シングルとする。形状及び寸法は、図のとおりとする。
	地質	濃紺色の毛織物、絹織物、化学繊維織物又はこれらの混紡織物若しくは交織織物とする。
女性第一種礼服冬上衣	製式	襟　へちま襟とする。両襟に金色モール製の桜花桜葉模様の襟飾りをつける。
		肩　第一種礼服冬上衣と同じとする。
		前面　金色のボタン各二個を二行につけ、付け合わせ部の左右に金色のボタン各一個をつけ留める。
		そで　第一種礼服冬上衣と同じとする。
		その他　ボタンは、第一種礼服冬上衣と同じとする。
		形状は、図のとおりとする。
	地質	女性第一種礼服冬上衣と同じとする。ただし、襟の色はえんじ色とし、そでは第二種礼服冬上衣と同じとする。
女性第二種礼服冬上衣	製式	女性第一種礼服冬上衣と同じとする。ただし、そでは第二種礼服冬上衣と同じとする。
	地質	白色の毛織物、絹織物、麻織物、化学繊維織物又はこれらの混紡織物若しくは交織織物とする。
女性第一種礼服夏上衣	製式	女性第一種礼服冬上衣と同じとする。
女性第二種礼服夏上衣	製式	女性第一種礼服夏上衣と同じとする。ただし、そでは第二種礼服冬上衣と同じとする。
女性第一種礼服スカート	地質	女性第一種礼服冬上衣と同じとする。
	製式	セミフレアースカートとする。左わきをあけ、ファスナーで留める。胴回りにともぎれのバンドをつけ、かぎホック一個で留める。形状は、図のとおりとする。